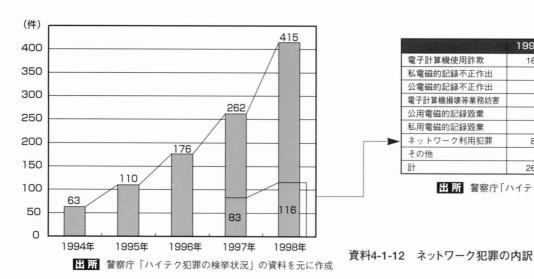
# インターネットと犯罪・セキュリティ

インターネットと犯罪

## ネットワーク利用犯罪は 前年比58%の増加

### 資料4-1-9 ハイテク犯罪の検挙状況

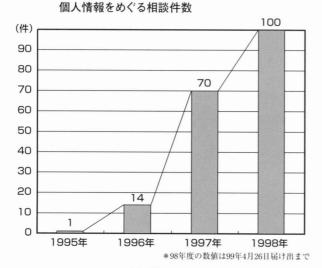
#### 資料4-1-10 ハイテク犯罪検挙件数の内訳



1997年 1998年 電子計算機使用詐欺 163 287 私電磁的記録不正作出 5 4 公電磁的記録不正作出 0 電子計算機損壞等業務妨害 2 8 公用電磁的記録毀棄 0 私用電磁的記録毀棄 0 0 ネットワーク利用犯罪 83 116 その他 0 計 262 415

出所 警察庁「ハイテク犯罪の検挙状況」 の資料を元に作成

資料4-1-11 国民生活センターに寄せられたインターネット上の



世 所 国民生活センターの資料を元に作成

名誉毀損 2% その他 5% 薬物販売等事件 0% 著作権法違反 15% 詐欺事件 9% わいせつ物配布

事件名	件数	割合(%)
わいせつ物配布等の事件	80	69
詐欺事件	11	9
著作権法違反	17	15
薬物販売等事件	0	0
名誉毀損	2	2
その他	6	5

世 所 警察庁「ハイテク犯罪の検挙状況」の資料を元に作成

等の事件 69%

# 解説

#### 現状と今後の課題

警察庁はハイテク犯罪という捉え方でその検 挙状況をまとめているが、このハイテク犯罪とい うのは、「コンピュータ技術および電気通信技術 を悪用した犯罪」であるとされているので、イン ターネット犯罪よりも広義である。その検挙件数 の内訳(1998年)を見ると、1987年の刑法改正 で新設されたコンピュータ犯罪のうち、電子計 算機使用詐欺が287件で最も多く、金銭を騙し 取ろうとする犯罪が目立っていることがわかる。 また、ネットワー犯罪がそれに次いで多い。

さらに、国民生活センターに寄せられたイン ターネット上の個人情報をめぐる相談件数が増 加していることが気になる。個別のケースを見 ないと犯罪になるかどうかわからないが、少な くとも個人情報が保護されていない実態が明ら かになったと言える。インターネットにかかわる 問題が増大している主な原因の1つは犯罪者に とって便利なツールができたことである。しかし、 それだけならば自動車を使う犯罪とあまり変わ りがない。これまでの犯罪と基本的に異なる点 は、インターネットの特性に関連しているところ にあると見ている。その特性とは、①発信者に プロの職業倫理が働かない場合があること、② 発信者に匿名性があるため、無責任な情報発 信や違法行為が心理的に容易にできること、③

違法な内容の情報がサーバーからサーバーに 簡単かつ迅速にコピーできるため、情報が流通 し続ける可能性が大きいこと、④ある国で違法 な情報であっても別の国で違法でなければ、そ の情報が世界中を流通する可能性があること、 ⑤プロバイダーによって違法な情報の発信また は違法な情報へのアクセスが制限されてもほか のプロバイダーを利用することで発信・アクセス が可能であること、などである。

これらに適切に対処するためには、自主規制 的対応はもとより、法的対応も必要である。

(堀部政男 中央大学法学部教授)



# 「インターネット白書ARCHIVES」ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年~2012年までに発行したインターネット の年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以 下のウェブサイトで公開しているものです。

# http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- ●記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- ●収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の 著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- ●著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- ●このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくま で個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- ●収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名お よび年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記くだ さい。
- ●オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D (初期は株式会社インプレス)と 著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全 に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的 な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D | 🖂 iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.